

# 3年学年だより

吹田市立第二中学校 第三学年 平成 27(2015)年 10月 7日発行 NO.29

人権文化祭大成功の余韻も冷めやらぬ中、体育祭の取り組みがいよいよ佳境です。3年生に残された大きな行事は、卒業式を除けばこの体育祭のみ！そう考えるとなんだか寂しくなってくるね・・・しみじみ。

けれど、今年の体育祭は取り組み期間が短いぞ！本番を入れても、あとたった3日しかない。この数日、ただ何となく過ごしていても、体育祭本番はせまってくる。苦手やな、いややな、と置いていても、よっしゃー！やったるでー！と置いていても、本番はやって来る。どうせやるなら、



クラス旗も完成！コンテストで最優秀賞を獲得するのは・・・！？



## 学年練習・全体練習を見ていて思うこと

行進の練習、ラジオ体操、校歌斉唱、入場や退場。今までの2年間と同じ動作。・・・うん。悪くない。そんなには、悪くない。悪くないけど・・・それなりやなーと思う。物足りない。

確かに、行進やラジオ体操は勝敗がかかったものでもないし、ただ何となくやっけても過ぎていく。入退場の移動でも、決定的に怒られないといけないくらいダラダラしているわけでもない。校歌も、それなりに声が出てきた。1・2年に比べたら、3年が一番声出してる。でも・・・ぜんぜん見ていて気持ちが動かされない。面白くない。ほんまにこれが最後の体育祭でええの？と思ってしまう。



文化祭では、最後の全員合唱のあと、3年生の多くの先生方が涙した。それは、合唱がプロ並みにうまかったからではない。すべての演目を完璧に演じられたからでもない。本番直前までうまくいかないかもしれないという極限の緊張と不安の中で、最後の最後に**心底楽しそうなみんなの姿を見たから**。難しい技にもチャレンジし、今までに経験したことのない分野に飛び込んで、真剣に取り組み、泣いたり怒ったりした**3年のみんなの本気を見たから**。

勝負のかかった競技だけじゃない。行進でもラジオ体操でも何でも、とにかく本気でやってみ。きっと気持ちいいから。どうせやるなら、とことんやりきってみ。どんどんあがっていく自分を感じられるから。中途半端なんかやめて、突き抜けてみ。そんな姿に感動する人が必ずいるから。



「本気」は、人の心を動かす力がある。確かに。  
それがただの行進でも。ただの準備運動でも。  
**最後の体育祭。3年全員の「本気」が見たい。**